

8月22日（木）に、東大訪問研修を行いました。これは、1・2年生の希望者が東京大学へ行き、キャンパスを見学しながら東大の先生や学生の話聞く夏の恒例行事です。毎年大変好評で、10回目となる今年は21名の生徒が参加しました。

当日の東京は曇りの予報で、不安定な夏の空を心配しました。名古屋を出るときに晴れていた空も次第に雲が多くなり、富士山はお休み。しかし、直前まで降っていた雨も出会うの時間には上がり、駒場キャンパスに到着すると、すでに門の前には多くの東大生が到着を待っていてくれました。

午前中には東大学生サークル Fair Wind のみなさんが企画したワークショップが行われました。パネルディスカッションでは、東大での学びや東大生の生活について教えてもらいました。研究内容・サークル・東京の街並等について魅力が語られると、生徒は自然と笑顔になっていきました。グループワークでは、1年後を想定し、自分の課題をどのように克服していくか考えました。苦手はすぐに解決する・好きになることが重要など、受験をしたからこそ言える体験談に熱心に耳を傾け、ノートいっぱいメモをとる生徒もいました。東大生にコメントしてもらったワークシートは宝になったと思います。

昼食は学食でとりました。カフェテリア形式で値段もお値打ちで、高校生にとっては新鮮に感じられたようです。夏休みにもかかわらず、多くの学生が校内で見られました。部活やサークルだけでなく、図書館や研究室等で過す東大生の姿に自分を重ね、モチベーションが上がったのではないのでしょうか。

午後は東京大学生産技術研究所に場所を移し、土屋健介准教授の研究室を訪問しました。土屋研究室では「小さな世界」に照準を合わせ、微細加工技術や微細組立技術の研究を行っています。はじめに土屋先生から科学についてレクチャーをしていただき、その後実験室へ行き実際に機材を操作させていただきました。「研究は壮大な遊び。全力で学ぼう」と熱く語ってくださった土屋先生に感化されて、知的興奮を覚えた生徒からの質問も次第に熱を帯びていきました。

参加生徒は、雲の上のように感じていた東京大学について、より具体的にイメージをもつことができたようです。刺激を受けた生徒達はこれを機に、より一層日々の勉学に励んでいけると思います。最後になりましたが、今回の訪問研修を快く受け入れてくださいました、東京大学生産技術研究所の土屋健介准教授、東大学生サークル Fair Wind はじめ多くの皆様方に、この場を借りて深く御礼申し上げます。



憧れの東京大学で記念撮影



Fair Wind の皆さんから東大レクチャー



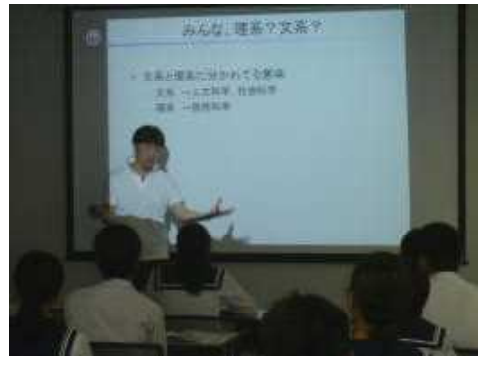
東大生の時間割



親身な個別相談会



豊富な学食のメニュー



東大の先生から特別講義



機材を実際に使用させていただきました